

甲南Today

甲南ピープルのリレーションで、

未来を紡ぐ

No. 12

2002.12

ひとすくいの海水から、
数十億年も生物史を読む!?

Welcome! 誌上ゼミナール

集まれ! 甲友ファミリー

特集・つながる! KONANネットワーク
NETWORK KONAN



甲南Today No.12

2002年12月15日発行 【発行】甲南学園広報室 〒658-8501 神戸市東灘区岡本8丁目9-1 TEL 078 431 4341(代)

鳩杖

鳩杖はちゅうじょう 1号館1階学園史資料展示室にあるこの杖は、学園の創立者平生勉三郎先生が、1945年に板倉院顧問官の功績により賜ったものです。

尋常科を高等科の教授が教えた／今なら大学教養科目の教師／ぜいたくな話／何が違った／勉強嫌いにも学問の香気が伝わった／日本文法では時枝文法という別の考え方があったと漏らされた／いろいろな考え方があったのだ／これを知る大切さ／地理の朝永教授は一年間「島」別の一年は「アフリカ」一筋／第一声が本質を突いていた／どんな島にも山陽と山陰がある／「アフリカは知られることもっとも古くもっとも少ない大陸である」／国語の本田義憲教授はいきなり窓辺に寄って「空が青い。かなしいですね」／わけがわからなくてもその感銘は今に残る／新高二回卒業生は平成十四年のクラス会に先生をお招きして講義を再演してもらった／当時二十六歳今八十歳の先生は中学二年生の私たちに配られたプリントを保存してられた／「コピーをみてみな息を呑んだ」感動／藤村の詩「初恋」と柳田国男の「海南小記」／新しい教室に白髪の先生の講義が響き渡った。



旧制高等学校時代 / 正門の鉄扉につけられた徽章(きしょう)



中井久夫教授

文学部教授・神戸大学名誉教授・医学博士。昭和9年奈良県生まれ。甲南中学・甲南高校を経て昭和34年京都大学医学部卒。精神医学者として治療と研究に従事する。平成9年4月から文学部人間科学科教授。『精神医学の経験』全8巻他著・翻訳書は多岐にわたる。



KONAN

インターネットで甲南へ
<http://www.konan-u.ac.jp>

ゴルフ部OB会から優勝杯寄贈
栄えある歴史を語るトロフィーが学園史資料室に

これからの生命科学へのアプローチをテーマに、世界的な権威と若手研究者が討論！

中国・四国地区教育懇談会

遠方のご父母の疑問にもFace to Faceでお応え！

経済学部開設50周年記念講演会

甲友会館竣工式

完成！同窓生の新たな集いの場

第38回「摂津祭」開催

一大イベント「摂津祭」開催

研究開発コンソーシアム「メタカシイナス研究機構」を設立

県内の複数の大学・

独立行政法人と連携して

ナノ先端医療の研究分野を開く

NETWORK KONAN

つながる！KONANネットワーク

集まれ！

甲友ファミリー

Welcome! 誌上セミナー 特別編

ひとつすくいの海水から、

数十億年もの生物史を読む!?

甲南キャンパス徹底ガイド

あなたは「こ存じでした」?

知る人ぞ知る甲南独自の充実施設

甲南学園東京事務所/サイバライブラリ

世界へつながる！

WORLD NET KONAN

祝！10th Anniversary of

New York Konan Alumni Association

創立より、いまへ受け継ぐスピリッツ

50th Anniversary

クラブつなごりレシジョン

体育会バスケットボール部

文化会能楽研究部

PICK UP 高・中・TOPICS

体育祭・文化祭

体力を競い、日頃の活動成果を報告

生徒主体で開催する、秋の一大イベント

トウレイ又甲南学園だより

大切なのは何事にもチャレンジすること

3年間の経験が、いまの私を支えています

第一線で活躍中の卒業生にアクセス！

IT'S KONAN STYLE

起承転結で捉えれば「起」の4年間

作家への挑戦は甲南から始まった

甲南フォーラム

表紙の絵

西井義興 画 「甲友会館」

西井義興さんプロフィール
1961年 甲南大学経済学部卒業
元自由美術会員

2003年の個展会の予定
1月23日～28日
大阪松竹座前ギャラリー香
オープン記念個展
3月31日～4月5日
東京銀座ギャラリー-筋小品展
9月3日～9日
大阪なんば高島屋10回記念個展
9月24日～30日
JR名古屋高島屋個展

次のURLでも作品集をご覧ください
http://webgarou.net



WHAT'S NEW! KONAN

ゴルフ部OB会から優勝杯寄贈

栄えある歴史を語る
トロフィーが学園史資料室に



体育会ゴルフ部OB会緑友会

よりアマチュアゴルフ

フ会最高の栄誉である信夫杯8

点を含む優勝杯12点、優勝権1

点、優勝トロフィー1点を、この

度、本学園にご寄贈いただきました。

これらは、昭和30年から47年の間

に、石本喜義氏、大橋二元氏、中部銀次

郎氏などの活躍により与えられた栄

えある甲南ゴルフ部の伝統と歴史を象

徴するものです。

寄贈式は10月25日に執り行われま

した。坂野伯夫緑友会事務局長、金村

幸宏さん、体育会ゴルフ部・文学部(4年)

が見守る中、大橋二元緑友会会長から

池上吉蔵理事長に優勝杯などが寄贈

され、理事長から会長に、感謝状が贈

呈されました。寄贈式には、本学園か

らは矢木司孝理事、藍原正宜広報室長

も出席しました。寄贈していただいた

優勝杯などは、学園の資料室で大切に

保管しますが、折々に、展示室などで甲

友の皆さまにもお披露目していきます。

参加者募集

増井禎夫先生を囲む特別ワークショップ開催

これからの生命科学へのアプローチをテーマに、世界的な権威と若手研究者が討論！

甲南大学では、生命科学の分野で国際的に高い評価を得ておられる増井禎夫先生をお招きし、生命科学研究を積極的に推進します。その活動の一環として、今回、2003年3月21日(金)、22日(土)の両日にわたり、若手研究者を対象とした少人数のワークショップを開催することとなりました。具体的には、増井先生をはじめとする先生方の講演、若手研究者の研究発表のほか、先生方を囲んだの討論を予定。この催しを通じて、急速に変化しつつある現代生物学で見落とされがちな「生命を探究する姿勢」を改めて見直していきたいと思えます。つきましては、先生方と夜を徹して語り明かそうという参加者を募集します。興味を持たれた方は、下記までお問い合わせください。

【日 時】2003年3月21日(金)、22日(土)
【場 所】甲南学園平生記念セミナーハウス
【お申し込み & お問い合わせ】
甲南大学理工学部生物学科 担当：西方まで
TEL 078-435-2511 eメール nisikata@konan-u.ac.jp

増井禎夫先生プロフィール
トロント大学名誉教授。甲南大学名誉教授。13年間の甲南大における研究で開拓した生物化学の研究テーマをカナダで結実し、ラスカー賞、マニング賞をはじめ数多くの国際的な賞を受賞。主な功績は、細胞が分裂し増殖する過程をコントロールする卵成熟誘起因子(MPF)および細胞分裂停止因子(CSF)という2つの因子の存在を明らかにしたところにある。



中国・四国地区教育懇談会

遠方のご父母の疑問にも
Face to Faceでお応え!



2002年10月13日、ホテルグランヴィア岡山にて中国・四国地方のご父母を対象とした教育懇談会が実施されました。吉沢英成学長の挨拶の後、中田善啓就職部長が近年の就職戦線の動向について講演を行い、いま求められる学生像とその家庭に必要な心構えなどを強調。その後は個別相談の時間とし、学部別の学修、就職、留学など部門別に担当の教員がご父母の疑問にお応えしました。締めくくりは懇親パーティー。岡山甲南会会長の末長範彦様のご挨拶で始まり、終始和やかなムードで進みました。会場でのアンケートによれば、この一日を通して、多くのご父母にアットホームな大学の雰囲気を感じ取っていただけたようです。

第38回 摂津祭 「CROSS OVER」

一大イベント「摂津祭」開催

一年で岡本キャンパスが最も活気づく5日間、摂津祭が今年もにぎやかに開催されました。今年、掲げられたテーマは「CROSS OVER」。一人ひとりの摂津祭に対する思いを融合して新しいカタチの大学祭を生み出そうというコンセプトとあり、どの催しも気合い十分！初日の11月20日(水)はオープニングセレモニーの後、恒例の武道系クラブによる演武祭が幕開けを威勢良く飾り、各種趣向を凝らした模擬店が一斉にオープン。また、花火やとくに人気の高いプロのライブは23日(土)に開催。「YOU THE ROCK」、「電撃ネットワーク」、「ガガガSP」が訪れ、盛り上がりは最高潮に。最終日となる24日(日)は音楽関連クラブ・サークルが音楽祭で観客を楽しませ、最後まで充実した内容となりました。



▲22日(金)には、西宮アミティホールで演劇祭を開催。文化会歌舞伎文楽研究部、同能楽研究部、同演劇部などが公演を行いました。



◀文学部の谷口ゼミでは「甲南大学の循環型コミュニティーの創造とパートナーシップ」と題し、キャンパスや甲南大学環境教育野外施設で行っている活動(竹とんぼづくりなど)を紹介しました。

県内の複数の大学・ 独立行政法人と連携して ナノ先端医療の研究分野を開く

「研究開発コンソーシアム
「メディカルサイエンス研究機構」を設立

高度先進医療(医学・薬学)の基盤となる分子技術(ナノテクノロジー)研究開発を連携させることにより、ナノ先端医療研究の格段の促進を図るため、9月27日、甲南、神戸薬科、兵庫医科の3大学と独立行政法人産業技術総合研究所(テック・イノベーション・センター)が研究開発コンソーシアム「メディカルサイエンス研究機構」を設立しました。ナノテクノロジーは、ナノ(百万分の1ミリ)以下の分子レベルの微細な加工などを扱う技術の総称。医療分野では、細胞内の分子の相互作用などを解明し薬を開発したり、細胞を加工して再生医学に生かすなどの応用が期待されています。

同機構では、本学の杉本直己理工学部教授を委員長とする連携研究推進委員会が、プロジェクトを集約し、トップレベルの研究を進めます。例えばアルツハイマー病、がんなど幅広い病気を対象とした治療薬や治療技術を開発します。甲南大学では、核酸やたんぱく質を中心とする生命分子の分子間相互作用や薬物動態のデータベース化を基に、新規医療用ナノ材料およびナノシステムの研究・開発を行います。神戸薬科大学では、新規薬剤の開発を主に担当します。これらの、ナノ材料や薬剤を、TERCがヒト幹細胞を用いて毒性などを評価した後、兵庫医科大学で臨床研究が行われ、その結果は本学の基礎研究にフィードバックされます。

得意分野が異なる4者が連携することで、高度な専門技術や知識が必要とされる先端医療分野の研究開発を効率的に進めることが可能となります。

2003年1月16日には、研究機構設立記念シンポジウムを開催する予定です。

経済学部開設50周年記念講演会

10月21日甲友会館にて、ローレンス・R・クライン博士を招き、経済学部開設50周年記念講演会が開催されました。

甲南大学名誉博士号授与

記念講演会に先立ち、講演者である米国ペンシルベニア大学名誉教授のローレンス・R・クライン博士に甲南大学名誉博士の称号を授与する式典が執り行われ、吉沢英成学長より、名誉学位記が授与されました。クライン氏は、計量経済学会会長、アメリカ経済学会会長を務め、1980年にはノーベル経済学賞を受賞



された計量経済学のバイオリア。日本でも多くの経済学者が同氏の研究指導を受けており、本学経済学部の稲田義久教授との共同論文も発表されています。

経済学部開設50周年記念講演会

今回の講演会は2部構成で行いました。まず、クライン教授に「ITで甦ったアメリカ、変わるか日本」という題目で講演をいただきました。アメリカでは1980年代後半にIT革命が始まったのですが、その効果が経済に顕在化したのは90年代後半になってからでした。日本でのIT革命は90年代後半以降ですから、その効果が現れるのはこれからだといつ、元氣の出るお話でした。

後半は、稲田義久教授が今後の経済見通し、市野泰和講師が規制緩和、寺尾建

甲友会館竣工式

完成!同窓生の新たな集いの場

昨年よりキャンパスの北西エリアに建築中だった甲友会館がついに完成。9月28日(土)午前10時30分より、同会館2階の小ホールで、池上吉蔵理事長、吉沢英成学長らが参列し、竣工式が行われました。竣工式終了後は同会館の大ホールにて、グリークラブと女声合唱団アモロージによる記念コンサートが行われました。



甲友会館の利用について

卒業生、父母、学生がともに集い、ともに語らう場として甲友会館が竣工しました。クラブやゼミの発表会や展示会、または懇親会などに利用できます。

お問い合わせは

甲南学園 甲友室
TEL 078-441-4548 FAX 078-435-2559 まで

助教が労働市場、藤川清史教授が大学教育についてそれぞれ質問し、クライン教授と意見交換しました。教授は「これも、日本経済の潜在成長率は低下していないことを強調され、教授の持論である、市場主義一辺倒の政策は不適切で、ケインズ政策の出番が必要」であることを披露されました。

小泉政権の経済政策については、構造改革は必要だがそのデフレインパクトを緩和するために財政刺激は絶対必要といふことでした。とくに、財政刺激については、ITを中心とした教育投資を増加するべきと主張されました。日本の長期的な成長率を高めるためにも、いまこそ、教育投資への絶対的チャンスなのである。ITへの投資ではなく、ソフトへの投



資が決定的となろう。ITを使いこなせ、質の高いコンテンツを創造できる人材を創出するプロジェクトへの投資が重要であるとお話でした。

2002年5月発行の本誌「甲南Today」甲友統合記念号統合特別編の池上理事長と吉沢学長のトップ対談で、甲南OB・OGといえは、人と人とのネットワークを形成することが得意といつ学長のお話がありました。開学以来のリベラルな校風のせいかな在学生卒業生に限らず、甲友ファミリーの皆さまは、それぞれの個性を尊重しながら他人と連携し、巧みに人脈を築いていくよつです。今回の特集は、甲南に関わるさまざまなネットワークを取り上げます。甲南をキーワードに広がる交流。そこには、友だち、同僚、家族、先輩と後輩、教える者と学ぶ者、また、総合定期戦の良きライバルである学習院大学をも巻き込んだ関係までありました。ここでは、ほんの一例にすぎませんが、このような素敵な甲友ファミリーのネットワークの広がりをご紹介します。また、自身が甲南OBである池上吉蔵理事長から、今後も甲友ファミリーのネットワークがさらに拡充することを願い、皆さまにメッセージをお贈りいたします。

二十一世紀を甲南学園のさらなる発展の世紀に

理事長 池上吉蔵



これまで、歴代の理事長が築いてこられた輝かしい歴史と本学園にとつての新しい時代の社会的使命の重大なることを痛感し、二十一世紀を本学園のさらなる発展の世紀とするため、教育・研究改革プログラムの策定やそれに伴う健全な財政基盤の確立に全力を挙げるのが、皆さまの負託に応える最大の責務であると受けとめております。

わが甲南学園は、創立者 平生鈞三郎先生の建学の精神に基づき、社会の変化に適切に対応しつる教育・研究環境を充実させ、個性豊かで特色ある教育・研究を推進することを使命とするものであります。

大学においては、新たな法曹養成機関として、法科大学院の平成十六年開設をめざして本年十月に法曹養成高等教育研究所を設置しました。学部においても、経済学部および経営学部国際経営分野における有為の人材育成に資するため、本年四月に「EBA総合コース」を開設しました。また、情報教育環境および外国語教育環境の

私学を取り巻く社会情勢が、ますます厳しさを増す経営環境のもとで、本学園に対する期待が大きいつの時期に、前理事長 戸山晶夫氏の後を承けて第十二代理事長の重任を仰せつかり、その責務の重大さを痛感するとともに、身の引き締まる思いで、拜命から八か月余りが経過しました。すでに、「承知の方も多いことと存じますが、私が理事長に選任される理事会決定に至るまでの間、戸山前理事長のもとに各方面から多数のご意見が寄せられるなど、その調整に多大のご尽力をされつ、円滑な運営を図ることを旨として、甲南学園寄附行為および同施行細則の定めるところに則り、肅々と理事会を運営された結果、図らずも私が選任されることになりました。

充実・整備を推進しております。甲南学園創立八十周年（大学創立五十周年）記念事業の一つとして、臨床心理学を中心とした「学術フロンティア推進事業」や自然科学分野の高度な先端的研究を行う「ハイテク・リサーチ・センター」では、これまでの研究の評価に基づく新たな展開を試みるなど、学部・大学院教育の充実と研究の重点化・特色化を図っております。

中高においては、中高一貫教育の特徴を生かし、海外協定校との相互派遣などを含めた国際交流をさらに推進します。また、情報活用授業などの一層の充実を図り、生徒一人ひとりの自主的な自学自修活動と教育・研究諸活動を実りあるものにするための教育環境の充実。さらに、文部科学省の研究開発指定校として環境教育の充実を、推し進めるべきであると考え

ております。施設面においては、法曹養成教育の理念・目的の実現に必要な施設・設備などを備えた法科大学院棟の建設、理工学部情報システム工学科研究室、共同講義室、情報教育研究センター演習室および学生ラウンジなどを擁する新十二号館建設計画が逐次進んでおります。

このよつな教育・研究環境の整備・充実とともに、学生・生徒の勉学・研究意欲などを奨励し、結果、向上させるための奨学金制度の充実、学生相談室体制の強化、就職活動および課外活動などに対する支援体制の強化にも力を注いでまいります。

本学園が二十一世紀にふさわしい個性輝く学園として存在するためには、学園の優れた教育資源を甲南ファンや在学生、卒業生、父母の皆さま

をはじめとする甲友ファミリーと共有し活用することはもちろんですが、さらなる教育・研究環境の充実に向けて思い切つた資金の投入が必要となります。

しかし、学校法人は、非営利法人であるために、収入の減少に対しては、支出の抑制で対応せざるを得ません。教育・研究環境の充実を図るには支出の抑制・削減には自ずから限界があります。収入の8割近くを学生・生徒などの納付金が占めている現状ではありますが、教育費が家計に及ぼす影響と現下の厳しい経済事情を考えあわせ、この以上以上の納付金のご負担をお願いできない状況にありますので、募金組織体制を整えるなどすることによつて、将来を見据えた確固たる財政基盤を構築することが必要不可欠であります。

個性豊かで特色ある新しい教育・研究の創出を目指す本学園は、二十一世紀において、「共働互助」といふ学園創立者の考えを旨として、いつの時代にも変わらぬ社会的使命を果たすべく、つねに健全な学園運営に専念したいと思つております。

理事長の重任を仰せつかつてから、一力年にも満たない経験ではありますが、甲南ファン・甲友ファミリーをはじめとした皆さまの学園への大いなる期待に応える運営こそが、本学園の発展に寄与することは明白であります。

最後に、皆さまのご支援に深く感謝いたしますとともに、二十一世紀を本学園のさらなる発展の世紀にするための礎を、いま、構築しなければならぬと考へておりますので、重ねて関係各位のご指導・ご鞭撻とご協力を心からお願いいたします。



特集 集まれ!甲友ファミリー

かつてのライバルは、今日の友!

コクヨに見る学習院生との団結

合同OB・OG会を行うなど、密接な両校の絆をルポ
甲南大学が、学習院大学と毎年、体育会を中心としたクラブ同士の総合定期戦を行っていることは、多くの方がご存じのことでしょう。今年で47年目を迎えるこの行事は、校風、歴史、学生の気質など、さまざまな共通点を持つ両校がお互いに交流を深める目的で、一部の運動部同士の交流試合を設けたのが始まり。この動きがやがて多くの運動部に広がり、いまでは文化会で



の交流も行われるなど、大学の一大行事として発展。互いの学生と密接に交流する貴重な機会となっています。

しかし、ここで培われた絆は、クラブを、そして大学を卒業すれば、それで終わりなのでしょうか。そのような疑問を抱いていたところ、コクヨグループの方々より、同社では甲南卒と学習院卒が合同で新年会を開くなど、密接に交流を持ち続けているという情報を提供いただきました。そこで早速、事のいきさつをおうかがいすることに。ちよつと企業への内定が決まり、社会での甲南生のあり方に興味がある法学部4年次の岸本さん、藤本さんに、学生記者として東京にあるコクヨ株式会社品の品川オフィスへと駆けつけてもらいました。

藤本 今日、突然の取材をお受けくださり、ありがとうございます。早速ですが、甲南出身者と学習院出身者が合同で新年会を開かれたというのは、どういう経緯からだったのですか。

早川 実は、私が準硬式野球部の所属でしたから、就職してからも社内で学習院対甲南の試合を拝見して、それを学習院卒の私の上司が知って、もっと交流の輪を広げてみようとなったのが、そもそものきっかけだったんです。

岸本 新年会の場で、具体的にどんなことをされたのでしょうか。

早川 とくに少人数という点は重要だと思います。少人数だから、一人ひとりに目が届き、自主性が尊重してもらえたんです。ね、僕の野球部の活動を振り返ってみても、大人数で軍隊のように練習するのではなく、自分たちで考え、自由にできました。井上 自由というのは、自分でやらなきゃいけないというところでもあるわけですね。だから、何事に対しても取り組み方が自主的、主体的になっていく。甲南と学習院の出身者は、人当たりは柔らかいけれど、自分で物事を考え、必要な部分はきちり主張している。自画自賛ではないですが、それは一つの優れた共通点だと思います。

岸本 そう言えば、私たちもゼミの先生が、すごく自主性を尊重して接してくださるんですよ。何だか、皆さんのお話を聞き、いままで気づけなかった甲南生の強みが見つけられたような気がします。藤本 最後にまつりつお聞きしたいのですが、学習院の方から見ると、甲南生ってどんな印象がありますか。

高森 そうですね。やっぱり自然体というところかな。甲南の卒業生の方には共通してそんな雰囲気があります。初めて会



法学部経営法学科 4年次 岸本 和可子さん
法学部経営法学科 4年次 藤本 亜矢子さん

にしたんですけど。

岸本 すこい！社会人ならではの学習院戦が繰り広げられているんです(笑)。ところで御社では、別の大学の卒業生同士がグループになって会を設けるといふことは頻繁に行われているのでしょうか。

高森 いえ。甲南と学習院以外には聞いたことがありません。やはりこの両校は大学時代の交流が盛んですから特別なんでしょうね。

及川 私は同期が少ないのですが、会社に入って「学習院卒です」と言つと、「僕、甲南だよ」と名乗り出て「おられる先輩が多くて、最初から楽しく過ごさせてもらいました。お互い性格も知らないうちから、連帯感が生まれるってホント不思議です。

井上 僕が思うに、この両校は大学同士が交流試合をしていたという以上の結びつきがあると思います。そもそも僕なんか体育会出身者じゃないから、学習院生との



合同新年会記念写真。集まってみると「この方が甲南だったの!」、「キミは学習院っぽくないねえ」など、驚きの声もずいぶんあったとか。

取材をお受けくださった、コクヨの皆さん



株式会社ネットコクヨ 専務取締役 井上 誠さん 甲南大学 77年卒



コクヨオフィスシステム株式会社 営業開発部 課長 早川 嘉洋さん 甲南大学 89年卒



コクヨ株式会社 秘書課長 高森 邦彦さん 学習院大学 79年卒



コクヨ株式会社 スタウンダーFST事業部 及川 美穂さん 学習院大学 2000年卒

及川 集まって飲むだけでなく、お互いの大学の案内誌を取り寄せて回覧したり、学園歌を斉唱したり、両校の干渉を切ったり...という感じですか。これが思っていた以上に盛り上がりまして、普段の上司と部下の間柄など通り越して、集まった37人とも、学生に戻ったように楽しめました。高森 そうそう。この37人という人数にも面白いエピソードがあるんですよ。

藤本 どういうことですか。

高森 実は、開催前にどっちが多く集められるかを賭けていました。ふたを開けてみれば、甲南が18名、学習院が19名!

早川 ただし、仕事が片づかず、来られなかった甲南出身者に聞いてみると、その仕事を彼に任せられたのが、実は、出席していた学習院の上司(笑)。だから結局、痛み分け

う人でも、話してみると、ああ、この人は甲南生かなとわかることもあるんですよ。及川 私が今回の新年会をして感じたのは、皆さんが強いネットワークで結ばれているということ。会を設けるにあたって欲しい情報があったので、甲南の卒業生一人に尋ねたら、辛う辛う式にいろんな卒業生が協力してくださって、正直感激しました。藤本 なるほど。今日は甲南生と学習院生のつながりの深さをお教えたかったです。だけでなく、自分たち甲南生を客観的に考えるいい機会になりました。どうもありがとうございました。

(文中敬称略)

甲南のネットワーク力について、藤本、岸本両記者がコメント!



取材中、会話の雰囲気は、すっかり馴染んでいる。自分に気がつきませんでした。私もやっぱり甲南生です。

年齢も、立場も、学校も違う人たちが、ここまで打ち解けられるのは、素直にすこいと思いました。

二人は、現在、法学部梅本ゼミに所属。梅本先生の勧めでディベートコンテストに出場するなど、さまざまな活動に積極的にチャレンジしています。

つながる! KONANネットワーク

nan

集まれ! 甲友ファミリー



特ダネ 3 親族5人で5学部制覇

揃いも揃ったり
甲友ファミリー!
一族で5学部制覇の
尾高ファミリー!!

甲友のなかには、親・子・孫と三世代が甲友ファミリーといつのも珍しくはありません。ここでは、娘が今春文学部に入學し、なんと、親族5人で5学部制覇という尾高ファミリーを紹介。親族であり先輩・後輩でもあるといつユニークなファミリーにとって、甲南のどこに魅力があったのでしょうか。4月入学の尾高玲子さんを中心におうかがいしました。

世界的なアスリートである先生から「やるときはやる」姿勢を学びました



甲南大学保健体育研究室 専任講師 伊東 浩司先生
70年兵庫県生まれ。シドニー五輪100m・200mセミアイナリストとなり、4×100mリレーの第2走者としてチームを6位入賞に導く。富士通(株)を経て、2001年から甲南大学専任講師。100m10"00(日本記録・アジア記録)200m20"16(日本記録)保持者。

「運動選手である前に、尊敬される人間であれ」というのが先生の信条。だから礼儀だとか、社会常識に関することには本当に厳しいんです。だから陸上競技部全体としても「甲南の名に恥じない行動をとろう」というような気運がありますね。

競技に対しても真剣で、伊東先生がいる練習はまるで別世界。先生がグラウンドに出て来られるだけで、空気がピシッと引き締まります。世界的なアスリートである先生に教えていただくことで、私たちの方でもいい意味で緊張感を保ちながら練習に取り組んでいます。

でも、いったん競技を離れると、面白い先生です。なんといっても関西人ですから(笑)。先生も甲南大学に勤務することで地元に戻ってこられて喜んでいらしゃいます。指導者同士のネットワークもすごく、先生と私の高校時代の恩師につながりがあったりなんです。「伊東先生って、なんで私の気持ちがあんなにわかるんだろう」と不思議に思っていたら、実はそのルートでつつ抜けだったんですね(笑)。

クラブの雰囲気と和気あいあいとしながらも「やるときはやる」姿勢なのは、やはり伊東先生のおかげ。これからも伊東先生を中心に、競技者として、そして人間として、みんなで成長していきたいですね。



ビッグソフト株式会社 所属 新井 初佳さん
97年文学部卒
98 - 02年の日本選手権で5年連続女子100m・200mの2冠に輝く。2002年釜山アジア大会女子200m6位。

憧れの先輩との合同合宿 部全体が盛り上がりました

競技者として、人間として...
体育会系のつながりから
現役学生が学ぶものとは?

日本の女子陸上短距離界のエースとして活躍する新井先輩は、私にとってずっと以前からの憧れの人。大学入学後、初めて試合会場でお会いしたときに気さくに声をかけてくださって、そのときは「甲南に入ってよかった」と舞い上がってしまいました(笑)。

その先輩が今年2月と8月の合宿に参加してくださったんです。憧れの先輩と一緒に練習できるというので、陸上競技部全体が盛り上がり、いい雰囲気になりましたね。

新井先輩の練習への姿勢はものすごく真剣。一流のアスリートは、集中力が違うんだな、と感じ入る思いでした。でも、おちゃめな面もあって、補強運動をするときの先輩の口ぐせは「女は腹筋よ」。確かに腹筋運動も大事なんですけど、なぜ先輩がそんなに腹筋にこだわるのかよく聞いてみたら、セパレーターのウェアをカッコよく着るためなんだとか(笑)。そんな女のこらしいところも先輩の魅力。競技に対する厳しい姿勢と普段の明るい性格、そのメリハリがすごいと思います。新井先輩を目標にがんばって、私も先輩のように先輩から頼りにされたい。そして、そうした甲南を通じてのつながりをずっと続けていけたらいいですね。



甲南大学 六甲アイランド体育施設(陸上競技場)で

甲南のネットワーク力について、福山記者がコメント!



経営学部経営学科 2年次 福山 茜さん
体育会陸上競技部
2002年 第13回 日本学生陸上競技種目別選手権大会 走高跳2位。

お一人のような一流アスリートとのつながりが持てるのも甲南生の役得(笑)。高い目標が身近にあることで、部全体の士気も高まっています!

兄 / 経営学部 尾高 淳一さん 99年度卒

親であり、先輩でもある父に力強さを感じた。将来、自分の子どもにも甲南を勧めたい
父から自然とこぼれ出る自由な校風にも、神戸にも憧れていました。高校から大学にかけては、とくに父親とのコミュニケーションは稀薄になりがちですね。だけど、僕の場合、父が甲南の先輩なので、普通以上に心強い存在となっている気がします。将来の不安を相談するなど、頼らせてもらうこともよくありました。将来、自分の子どもにも甲南を勧めたいと思いますね。

父 / 経済学部 尾高 一朗さん 70年度卒

“人”を育む甲南の校風なら子どもたちを安心して任せられる
甲南を卒業してから30年余り。いま、労働災害防止協会の分会長をしていますが、ゼミで研究していた「林業における労働災害」の研究知識が、製材業に携わるうえで大きな糧となっています。あの頃の甲南の学びがいまも確かに私の中で生きていますね。また自主性を重んじる甲南の気風も自然に身についていて、子どもたちにも好きなのを選ばせたが、進んで甲南大学を選びました。普段の何気ない生活の中で、甲南スタイルがしっかりと子どもたちにも伝わったようですね。母校が同じことで、子どもたちとの会話も盛りあがります。

従妹(お父様の従妹の夫) / 理学部 朝井 孝治さん 77年度卒

親族が集まると、決まって甲南話 そんな時間が何より楽しい
生まれも育ちも芦屋の私にとって、甲南大学は身近な存在。理系に進みたかったので評判もよく、教育環境も充実している甲南大学理学部を選びました。在学中は、地下水や海水の分析の研究に明け暮れる毎日でした。いまは同窓会はもとより、先輩でもある義姉と甲南のキャンパス風景の変化や思い出を話すのが結構楽しいです。

叔母(お父様の従妹) / 法学部 浅井 富美さん 77年度卒

クラブを通して深まる交流が、楽しみの一つとして続いています
実は東京の大学へ進みたかったのですが、両親が身近な大学進学を希望したこともあって甲南大学へ。在学当時は勉強も、スポーツ愛好同好会もエンジョイしました。その頃の友人は、いまも定期的集まるほど仲がいいですよ。オール甲南の集いにも徐々にみんなで集まって、たまたま通りがかった学生に記念撮影のシャッターを押してもらいましたが、とても気持ちよく引き受けられました。いい雰囲気はあの頃と少しも変わっていませんね。甲南を選んでよかったと実感しています。

ご本人 / 文学部 尾高 玲子さん 社会学科1年次 在学

幼い頃から身近に憧れていた甲南 いまは、その喜びと充実感を毎日感じます
受験ではほかの大学もいくつか受かったのですが、やはり甲南に。選んだきっかけは、幼い頃から父や兄、親族の話を耳にしてきて憧れがふくらんでいたから。それに神戸というおしゃれな街にあるのも魅力でした。夢が叶ったいまでは、留学生と交流できる外国コミュニケーションサークルにも所属。専攻は社会学科で、受け身ではない勉強をしたいと思っています。

甲南のネットワーク力について、尾高玲子記者がコメント!



自分の家族の紹介ということでも、少し照れくさいのですが、確かにこれだけ甲南生ばかりの一族も珍しいでしょうね。とくに普通の家庭と違うことではないのですが、何かを感じるのには父や兄たちと話すホンのささいな瞬間。父が通っていた旧き良き時代の話や、兄が入学した震災当時のキャンパスの様子など、甲南のおかげで家族で交わす話題が尽きることはないんです。親族も、現在の甲南大学の変化に興味津々のようで、私とは在籍していた時代も学部も違っても、積極的に話を聞き、親身にアドバイスをしてくれることもありますね。同じ空気を共有できるこの結びつきは、これからも深まりたいと思います。

2003年4月20日開催の大同窓会「オール甲南の集い」では、例えば、親・子・孫、夫婦と子ども、親と子ども二人、兄弟3人など甲南大学・高校・中学校、さらに甲南女子、小学校、幼稚園どちらの卒業生であるか現役であるか問いません。一家に3人以上卒業生・現役がいるという方々で当日ご参加される皆さまに記念品を進呈します。我こそ、甲友ファミリーと思われの方は、P25の詳細をお読みのうえ、アンケート用紙でお知らせください。

甲友ネットを広げるチャンス! 卒業生の営む飲食店を大紹介

甲友のさまざまなつながりをご紹介した今回の特集、いかがでしたでしょうか。最後は、読者の皆さまにそれぞれの甲友ネットワークを強めていただく一つの手段として、老舗料亭「花外楼」の女将、徳光正子さんによる新感覚レストラン「アイルモレ・コタ」をはじめ、現在、卒業生が経営されている飲食店をご紹介します。どうぞ気軽に訪れ、甲友のネットワークを広げてください。



「アイルモレ・コタ」オーナー
徳光 正子さん 72年文学部卒

江戸時代から続く花外楼の創業者の家に3人兄弟の長女として出生。甲南大学を卒業後、家業を手伝うことに。父の病気を機に、本部企画室を作り、新規事業として「アイルモレ・コタ」を立ち上げるなど、経営に参画。現在は5代目、花外楼の女将を務める。



3・4階にある日本料理のレストラン。明治維新の元勳たちが集まった本店花外楼にちなんで「以心(いしん)」と名付けられています。四季折々に、美しくヘルシーな日本料理の懐古を楽しんでいただくことができます。
季節によりお料理内容は変更されます

アイルモレ・コタ
所在地 / 大阪市中央区北浜1-1-19
TEL / 06-6203-4636
営業時間 / 11:00 ~ 22:00
定休日 / 日・祝(ただし、婚礼などは可)
ホームページ / www.kagairo.co.jp/

老舗の心意気を色濃く受け継ぐ
創作フレンチのレストラン

中之島の川面に佇む、コンクリート打ちっ放しのスタイリッシュなビル「アイルモレ・コタ」。1階はペーカリー、2階はフレンチレストラン、3・4階は日本料理のレストラン、5階はパーティフロアと、多目的なこの空間は、甲南大学OGであり、江戸時代から大阪北浜に続く老舗「花外楼」の女将でもある、徳光正子さんのお店です。ここでは、同じく甲南大学OGで、料理研究家の廣庭由利子さんをインタビューに、「このお店を訪問、徳光さんがこの店を立ち上げた経緯、そこに込められたこだわりなどをお伺いしました。」

廣庭 「花外楼」と言えば、木戸孝允から名前をもらったといくらくらい由緒ある老舗。その女将、徳光さんが立ち上げたお店と聞いたので、このモダンな雰囲気には正直、驚きました。どうしてこれほど違うお店にされたのですか。

徳光 よく、古い店を持っているから、新しい店



私が取材します!

料理研究家
廣庭 由利子さん 71年文学部卒
大学卒業後に訪れたフランスで、本場のフレンチに感激し、独学でフランス料理を研究。雑誌「神戸からの手紙」を皮切りに、サンTV「金曜いきいきタイム」や新聞でも料理を紹介する。現在も年数回は渡仏し、料理文化の研究に努める。

をやりたかったんじゃないかと尋ねられますが、私にとってはどちらの店も基本的なコンセプトは全く同じなんです。

廣庭 面白いですね。それはどういふことでしょうか。

徳光 レストランの一番コアな役割って、いろんな人の思い出の場、心の集いの場であることだと思っんですよ。「花外楼」はすでに歴史があり、そうした支持をいただく幸運な店ですが、老舗って若い人にとっては入りづらい部分もありますよね。ですから、よりリーズナブルなお値段とモダンな雰囲気の「アイルモレ・コタ」で、これからの時代を担う人たちの心の拠り所を作りたいと考えたわけです。

廣庭 そうだったんですか。ちなみに、「アイルモレ・コタ」に、「花外楼」から受け継がれたものって何かありますか。

徳光 それぞれ違う店ですが、あえて言えば、「心意気」。例えば、パン職人さんに言うんです。原価をいかに抑えるかじゃなくて、いかに美味しく作るかを考えて、と。

廣庭 中途半端は出さないということですね。立派なお考えだと思います。ところで、「アイルモレ・コタ」の名前はどういう意味でしょう。

徳光 インドネシア語で、水辺の美しい「街の意」です。水辺に立つビルを小さな街と見なしてこの名前をつけたんです。

廣庭 そういえば、ここからは水の都と言われる大阪、中之島のゆったりとした風景が眺められます。まさにびつたりの名前ですね。

徳光 そう言っていたら、とうれいですが、廣庭 それでは最後に、甲南関係者の方々にメッセージをお願いします。

徳光 甲南卒業生の印象は、それぞれ立場が違っても、気取らずに言いたいことを言い合える人たち。卒業後、とくにその気質の良さを実感しています。お近くにいられたら、ぜひ、一度訪ねてお声をかけてみてください。

(文中敬称略)

本誌持参で
ハッピーディーナーセット 3,000円 1,500円(税別)
高級和牛ステーキディーナーセット 4,000円
2,000円(税別)

ロイヤルホース ROYAL HORSE
所在地 / 大阪市北区兔野町15-13ニキビル1階
TEL / 06-6312-8958 ~ 9
営業時間 / 17:00 ~ 翌1:00 無休
eメール / kitajazz@hotmail.com
http://www.mmjp.or.jp/live-info/shop/rhorse.html

77年に本格的ジャズ・クラブとして開店。国内外のトップアーティストが毎夜ライブ。最高級オリーブオイルと15種の香草を使った南イタリア料理を中心にワインも充実。テーマは「ぜいたくすぎてもリーズナブル」。

「こだわり」温泉玉子のカルボナーラ 1,300円
挽き肉と「こだわり」玉子のお見舞ピッツァ 1,000円
おすすめメニュー
ゴルゴンゾーラチーズのペンネ 1,600円

本誌持参で
お一人様につき
生ビール1杯サービス!

すみや 炭味家 えびす丸
所在地 / 大阪市北区梅田1-1-3 B200 (大阪駅前第3ビル地下2階)
TEL / 06-6442-4780
営業時間 / 17:00 ~ 22:30
定休日 / 日・祝・第3土曜日

3年前にまき網漁業の仕事から飲食業に変わりました。その関係で、全国各地から新鮮な魚介類や干物を送ってもらっています。大阪では食べられない珍しいものもあります。

北海道厚岸のカキ 390円
ニタリ鯨の刺身 780円
銀だらのカマ塩焼 680円
おすすめメニュー

本誌持参で
ワンドリンクサービス!

すし処 鮨割烹 松竹座 八三郎
所在地 / 大阪市中央区道頓堀1-9-19 地下1階
TEL / 06-6213-8345
営業時間 / 11:00 ~ 22:00
定休日 / 28、29日(月により変更あり)

落ち着いたゆつたりとお召し上がりいただけるよう、店内は広く重厚な作り。10人程度が集っていただける個室もあります。スタッフのイキの良さがお客さまを元気にしてくれること間違いなし!

お好みにぎり 750円 (大トロ、城下かれい 1ヶ)
おすすめメニュー
すし懐石 4,000円
すしコース(12ヶ) 5,000円

本誌持参でワンドリンク
(主ビール・ソフトドリンク・グラスワイン) サービス!

すし 萬
所在地 / 大阪市北区中之島5-3-68 リーガロイヤルホテル地下1階
TEL / 06-6446-0012(直通)
営業時間 / 11:00 ~ 21:30 無休
http://www.sushiman.co.jp

伝統の大阪すしをはじめ、にぎりすし・ちらしすしとさまざまなおすしをご堪能いただけます。従来のメインカウンター・テーブル席に加え個室カウンター・掘り座卓とより目的に合った食空間を提供いたします。

おすすめメニュー
大阪すし 盛合わせ 2,300円
創作にぎりコース 5,000円 おもてなしコース 8,000円

本誌持参で
ワンドリンクサービス!

北瑞苑
所在地 / 大阪市北区曾根崎地2-3-21 axビル3階
TEL / 06-6346-0147
営業時間 / 11:00 ~ 15:00・17:00 ~ 22:00
定休日 / 盆、正月と祝日の夜
http://www.pure.ne.jp/k-zuien/index.html

伝統の日本料理に多少の新しい物を取り入れた本格日本料理。個室は全室掘りこたつ式で、ご接待、お祝い、ご法事などに最適なお店です。

おすすめメニュー
天婦羅点心 3,800円
雪懐石 8,000円
接待用福寿懐石 12,000円

本誌持参で
ワンドリンクサービス!

吉兆 心齋橋店
所在地 / 大阪市中央区西心齋橋1-4-3 心齋橋OPA10階
TEL / 06-6258-3700
営業時間 / 11:00 ~ 14:30・17:00 ~ 21:00

心齋橋に直結した好ロケーションの中、吉兆の味とサービスをお気軽にお手軽にお楽しみいただけます。各種個室もご用意しております。

おすすめメニュー
石焼点心 5,000円
おまかせ懐石 10,000円 ~

グルメ・KONAN 大阪編

講師はこの人!



「知りたい!」という欲求を大切に
貪欲な学生を、とことんサポートします



講師からのメッセージ

この授業に限らず、私がいちばん伝えたいのは、とにかく「知りたい!」という欲求を全開にすること。知識が増えれば増えるほど、勉強は楽しいものとなり、その興味は雪だるま式に増えていきます。それでも、私たち専門家も含めて、人間の知っていることなど、たかが知れている。「生物マニア」と呼ばれるくらい集中して、とことん調べ尽くして欲しい。その探究心こそが、結果的にサイエンスの最先端を極めるのだと私は思います。いま、うちの研究室にいる院生たちも、みんなこの実習をきっかけに、まだまだ知りたいという飛び込んできた面々。そういったモチベーションを常に持ち、いざチャンスというとき積極的に動き出す学生は、私だけではなく、生物学科全体でとことんサポートしますよ。

本多ゼミでは
こんな研究をしています

主な卒業論文・大学院の学位論文テーマ

- 単細胞真核藻類の微細構造と系統進化
- 新たに認識された分解者、ラピリンチュラ類の生態環境における役割と系統分類
- ラピリンチュラ類に感染するウイルスのゲノム構造解析
- 養殖ノリに感染する壺状菌の正体を探る
- 深海から採取された繊毛虫の系統分類
- バクテリアを捕食する鞭毛虫の系統進化

受講生の証言

A群とB群は実は近いんだ! 新しい発見が面白く、院に進んでさらに研究したい

この授業の醍醐味は、学部生では普通、触らせてもらえない電子顕微鏡を使うこと。微生物を自分の目で見ることで、やはり、その世界にグッと引きつけられますね。僕のグループが担当している「ミドリムシ・ユウグレナ群」も、見れば見るほど興味が尽きない。その習性を探っていくうちに、表面的にはまた違う形をしたトリパノソーマやポドという病原菌の生物群と似ていることも発見し、「実は近いグループなんだ」と気がつきました。いまはこのように、系統学的に想像する面白さにハマっています。



左ノシャコ貝:大きく広げた外套膜に共生する微細藻類が光合成で作る栄養物によって生きています。
右ノPhaeomonas parva:赤道付近の外洋から採集された新種。高次分類群も新設し、千才藻綱と名付けた。

理学部生物学科3年次 大瀧 希郷さん



右ノ自分たちの手で採集したサンプルを見ながら満足そうに微笑む受講生たち。フィールドワークもこの実習で得られる貴重な体験の一つだ。
左ノ深度2メートル以上の海水は、専用の採水器を垂直に下ろし、ゆっくり引き上げて採集。



微生物学・系統分類学実験及び演習

理学部生物学科
本多大輔 講師

微細藻類や原生生物が主な研究対象。野外で採集を行い、光学顕微鏡や電子顕微鏡を用いて観察。38年にわたる進化によって多様化した生物の進化系統を解明し、全体像の把握を目指す。

ようこそ! 知のテーマパークへ

Welcome!

誌上ゼミナール

特別編

ひとすくいの海水から、 数十億年もの生物史を読む!?

誌上ゼミナールの特別編として、今回は、ゼミではないが理学部生物学科の授業のついでを紹介。肉眼では認識できない微生物の世界に迫る。そこには、人類の想像をはるかに超えた、多種多様な命が生存していることを、あなたはご存じだろうか?

海水採集から知る、 何万もの微生物の存在

私たちは、とかく人間こそ中心的な生物と考えがちである。しかし実際のところ、生物学の観点から見れば、私たちは無数にある生物の系統樹のなかの「ついで」にたどって進化してきたに過ぎない。そして、そのラインをさかのぼれば、おのずと突き当たるのが、種の起源とも言える単細胞の微生物たちだ。本多先生の「微生物学・系統分類学実験及び演習」は、ミクロの世界を探ることによって、その進化系統を明らかにしていくのが目的。

10日間の実験は、まず、研究対象の生物を野外から採集して、そこから始まる。二班に分かれた学生のうち、第一班のグループが向かったのは、六甲アイランド。海に棲む微生物を採集するためだ。

「海中の微生物は、生物のルーツを知るうえでとても重要な存在。なぜならそれらには約38億年前に初めてこの地球上に誕生したと言われる原核生物をはじめ、20億年前に生まれて非常に多様化してきた単細胞真核生物が、はるか太古からほとんど形態を変えずに生き残っていると考えられる。いわば「生き化石」が多いのです。それに比べれば、我々動物なんて、魚類までさかのぼってもたかだか、6億年前に現れた新参者。脈々と続く生物の歴史の前では、なんと薄っぺらな存在と思いが知らされるでしょう。」

先生の言葉に好奇心を刺激され、学生たちは次々と身を乗り出した。まず深度ゼロナートルの表面水を20マイクロメートル、1ミリの1/10000の穴の開いた網ですくってみる。続いて2、4、6、8メートルの海水を専用の採水器で、さらに、単細胞生物の「タネ」である休眠細胞が豊富に含まれているという海底の底口も採集した。

勢を持ってください。例えばいまいるような種類の微生物を確認しましたが、あなた方はまだそれらを同類のように考えているでしょう。ところが、実は、これらは生物学的にまったく別の系統に属する生物なんです。人間とミミズを比べれば、まったく違う生き物と思いがちですが、細胞レベルで見ると、微生物間の違いを考えれば、実は見分けがつかないくらいです。それに対して、いまの顕微鏡をもつ一度の観察で、鞭毛や細胞骨格、葉緑体、ミトコンドリア、細胞壁、ウロポグチ(たいていこれも細胞レベルで非常に大きな違いがあるわけですから、種が誕生した年代や系統も人間とミミズの何倍もかけ離れていると考えられます。私たち自身は、これほど多様な微生物のどの系統から派生してきたのでしょうか。そんなふうに考えてみる、それがこの授業の目的です。」

最終日には、グループごとに担当している微生物について、それぞれの生物群に属し、色や形、習性など



初めての電子顕微鏡で、数万倍に拡大された微生物を確認。もちろん、その使い方や機能なども一から学んでいく。

ここではまだ顕微鏡は使わないが、その一滴の海水の中に、数千、数万の微生物がいることは確か。本多先生は、ガラス容器に付着させた水滴を肉眼で見ただけで、その中にある黒い点や細い線が、だいたいどのような生物であるかを判別できるといふ。そして、「どうして分かるんですか?」と驚く学生たちに、「皆さんも、数を見るうちになんとなく分かるようになりますよ。それに、一週間経てばまた違う生物が確認できる。その日の水温や海流によって、海の中の生態系も微妙に変化しているんです」と、二班に分かれて、再度、同じ場所に採集に行く意味を説明した。

発見に感動するだけでなく、 一歩先まで踏み込む洞察が大切

一度にわたるフィールドワークを終えると、次は8つのグループに分かれ、いよいよ観察に入る。微生物の表面を写し出す顕微鏡と、細胞の中身を切片で観る顕微鏡(TEM)の電子顕微鏡を使って、わずか10分の1ミリにも満たない、「謎の生物」たちの正体を探るといふわけだ。ほとんどの学生は、電子顕微鏡に触れることが初めて、1万倍から数万倍もの拡大機能を持つ専門機器を前に、やはり興奮は隠せない。「肉眼で見ると、あれも小さな点にしか見えないの、実は細長い、や星形のもの。ウロポグチを伸ばして、口(口)に微生物をくっつけて、こんなに多様性があるんですね。」

思わず歓声の上がる実験室で、本多先生は、次のように言う。さきほどその探究心を喚起した。「知らなかつた世界を知り、感動する気持ちばかりでも大切です。ただ、生物学の研究としては、驚いて終わりではなく、さらにその一歩先まで踏み込む姿勢が、ととと特徴を持っているかをまとめて発表。ほかのグループの結果とも合わせて、共通点や相違点などを比較しながら、系統を整理していく。一度根本に立ち返り、私たちは生物学的には何者なのか、改めて自分自身の存在について深く考える。それが、本多先生の狙いだ。」



あなたはご存じでした? 知る人ぞ知る甲南独自の充実施設

甲南大学では、学生のキャンパスライフを充実させるため、さまざまな施設やシステムを用意していますが、あまりに多岐にわたっているためか、なかにはあまり知られていないものもあるようです。今回はそんな施設の一部を、普段から利用している現役学生に紹介してもらいました。

首都圏での就職活動をきめ細かくサポート

甲南学園東京事務所

企業の中には、首都圏でしか採用活動をしないうところが多くなっています。私の場合、どうしても行きたいと思った本命の企業がそうでしたから、結構、長期にわたって東京で就職活動をすることになりました。そんなとき、ずいぶんお世話になったのが、甲南学園の東京事務所です。インターネットが自由に使えると就職ガイダンスで聞いていたので、就職情報サイトを閲覧する目的で訪ねました。どんなところかと不安まじりで行ったのですが、応対してくださったスタッフの方々は、知り合いのように親身で(笑)。東京に私の場所があるという印象でした。設備としても、調べるだけでなく、情報をプリントアウトして持ち帰れるので、結構助かりましたね。東京駅からわずか2駅という好ロケーションですし、これから東京で就職活動を行う人もぜひ足を運んでみて欲しいと思います。

東京にも私の場所がある
親身な対応に、就職活動の緊張が解けました



経営学部経営学科
4年次 塚原 理絵さん

甲南学園東京事務所では、インターネット接続が可能なパソコンを設置しており、訪れた学生や甲南関係者が自由に利用することが可能。これにより、各種就職サイトや企業の本ホームページが閲覧できます。また、大学で登録さえしておけば、甲南大学独自の就職システムを利用でき、約一万社からなる膨大な企業の求人情報などを、東京でも手軽に得ることが出来ます。

パソコンの利用が自由!
東京でも最新情報が簡単に収集できます



遠方での面接は、とくに不安なもの
就職個別相談が心強い

いくら面接対策をして向かったとしても、慣れない土地では不安が募

資格取得などの自主学習をサポート

サイバーライブラリ

公務員を目指して、「地方上級試験」の勉強を始めた3年次の夏休み前、友達に「それならサイバーライブラリの資格試験学習室が集中できていいよ」と勧められて、試しに一度、借りてみました。すると、「ここは一人ひとりのペースが完全に独立していてすごく静か。確かに集中できるなと、それからよく使っています。

勉強時間のケジメがつき、短期集中で頑張れる
効率もグンと上がりました



経営学部経営学科
3年次 松井 陽介さん

家だと勉強を始めても、「テレビを見たりしてだらけるけど、ここにいるときは、いまは勉強時間」とケジメをつけられ、短時間でかなり効率があがるんですね。授業の空き時間などに来て、少なくとも1時間半、夏休みには最高で6時間利用したこともあります。何より、周りもみんな真剣に勉強している人たちがばかりだから、会話はなくてもいい意味でのライバル心が刺激され、僕も頑張るぞって燃えてくるんです。受付スタッフの方も、入退室のとき、「今日も頑張ってたね」「お疲れさま」なんていつも一言かけてくださって、一時、中だるみしていたときも、それでもやる気が戻りました。6月から始まる本試験に向けて、これからも頑張ります。

集中して勉強するなら、「資格試験学習室」
日・祝に使えるのも嬉しい

資格試験合格を目指す人が周りを気にせず集中して勉強できるような、個人用学習スペースを全部で16ブース用意しています。受付で申し込むと部屋のキーをお渡しします。2時間の間、自分だけの空間として自由に利用してください(延長可)。また、日曜・祝日もオープンしており、卒業生の方もご利用いただけます。そのほか、気軽に利用できる閲覧



席も104席用意、貸出用ノートパソコンからインターネットが利用できます。

最新ビジネス情報を手軽に
収集できる、データベースは貴重!DVDも見られます

サイバーライブラリ内のパソコンでは、日本経済新聞社が提供しているビジネス情報サービス「日経テレコン21」をはじめ、各種データベースサービスの利用が可能。例えば、関心のある言葉を入力すれば、日経や朝日などの新聞から関連のある記事を一瞬でピックアップできます。また、CD-ROMやDVDなどの教材も充実しており、もちろん閲覧は自由。過去にわたって裁判の判例を調べるなどの学習に利用できます。

り、うまく実力を出し切れないことも想定されます。そんなとき、甲南学園東京事務所を訪れると、スタッフ3名が、あなたの不安や悩みに対して、きめ細かくサポート。面接時の心構えや自己PRなどを最終チェックできます。遠慮なく申し出てください。



願書や広報誌をはじめ、
大学関連の資料が、何でも手に入ります

甲南学園東京事務所は学生のための就職支援だけでなく、東京在住の甲南学園同窓生の集まり、東京甲南会のイベント企画・実施などを行う機関としても機能しています。そのため、本事務所には、甲南学園関連のあらゆる資料がスラリ、願書や大学のホームページを伝える広報誌などの資料を、必要とする方々に提供することができます。

甲南学園東京事務所
所在地/東京都港区西新橋
1-6-13 柏屋ビル9F
お問い合わせ/
03-3559-1103
開設時間/9時~17時
(月~金曜日、ただし祝日及び学園の定める休日閉室となります)

授業のレポート作成に、「日経テレコン21」を活用



就職面接に必要な時事情報は、「雑誌コーナー」でチェック!

社会人に必須の知識として、就職面接時に尋ねられることの多い時事ネタは、サイバーライブラリの「雑誌コーナー」でチェック。ニュース週刊誌「AERA」や総合ビジネス誌「プレジデント」、世界史の激変を読み解く「SAPORO」など、さまざまなジャンルの雑誌を取りそろえています。ですから、見出しを眺めるだけでも、社会情勢を知ることが出来ます。

ACCESS DATA
5号館3階サイバーライブラリ
お問い合わせ/
078-431-4341(代表)
開室時間/
月~土曜日 9時~21時
日曜日・祝日 9時~17時
卒業生の方も利用できます。
図書館・サイバーライブラリ利用証を図書館で申し込んでご利用ください。

ようこそ甲南大学へ!
ウェルカムパーティ開催

アメリカ、イギリス、フランスなどの協定大学から、今年も交換留学生35名が甲南大学へ。すでに今年1月から学習を開始しているオセアニア圏の留学生1名とあわせて36名になりました。自治会国際交流委員会(IEC)では、彼らを歓迎し、10月18日午後6時から、平生記念セミナーハウスにてウェルカムパーティを開催。目玉は新しく来た留学生の紹介と彼らとの交流。みんなで飯装するのもウェルカムパーティ恒例のお楽しみとなっています。留学生たちはこの歓迎イベントを通して、甲南大学の学生との絆を深めました。



世界の甲南会連絡先一覧

ニューヨーク甲南会 会長/柳下 宇一さん(大経34)
C/O MARK 2000 INTERNATIONAL L.L.C 216
MAMARONECK ROAD, SCARSDALE N.Y. 10583 U.S.A.
TEL 914-725-4492 FAX 914-723-6103

ロスアンゼルス甲南会 会長/深田 博秀さん(大経40)
Mr.FUKADA 1951 WEST 232ND STREET
TORRANCE CA.90501 U.S.A.
TEL 310-534-5050 FAX 310-530-7916

シンガポール甲南会 会長/中江 均さん(大嘗43)
Mr.INUKAI C/O AKEBONO-OKAYA (S)PTE LTD
54 Lpyang Way, SINGAPORE 508747
TEL 65-542-0605 FAX 65-542-0609

バンコク甲南会 会長/富永 勇三さん(大理37)
Mr.KOTANI PACIFIC&ORIENT CO.LTD
NO.7 BUSH LANE BANGKOK THAILAND
TEL 662-234-9990 FAX 662-236-6572

シドニー甲南会 会長/坪光 康亮さん(大経46)
Mr.YAMAGUCHI NIHON BRAIN CENTER AUSTRALIA Pty Ltd
SUITE 401, 301 GEORGE STR.
SYDNEY NSW 2000 AUSTRALIA
TEL 612-9262-5444 FAX 612-9262-5454

祝! 10th Anniversary
of
New York Konan
Alumni Association

ニューヨーク甲南会が、今年10周年を迎えました。ここでは、世界に広がる甲南ネットワークの一端として、9月21日に行われた記念行事の様子をお知らせします。



ク甲南会幹事長の松浦正裕さんと1967年経営卒(が甲南学園からの支援に対する返礼をかねて、キャンパスを訪問。ニューヨーク州立大学バフファロー校への留学を必修としているEBA総合コースの学生たちに、ニューヨークのビジネスについて英語で講義され、終了後は学生の質問にわかりやすく丁寧に答えていただきました。また、EBAの学生がニューヨークへ留学している間、現地でのサポートを引き受けてくださるようになりました。



EBA総合コースのクラスで講義を行う、ニューヨーク甲南会松浦幹事長

クローズアップ
CLOSE UP

コロンビア大学中西教授も
ニューヨーク甲南会のメンバー

ニューヨーク甲南会のイベントでいつも手品を披露して下さる名物会員の中西香爾教授(コロンビア大学化学科教授)は、1938年から6年間、旧制甲南高校で学びました。教授はこれまでの天然物有機化学の研究業績により、30以上の国際的学術賞を受賞し、1999年には文化功労賞を受賞しました。教授の研究は、昆虫脱皮ホルモンや赤潮毒などの生理活性天然物の構造決定や解明、視覚の研究、世界に大きな反響を呼んだ銀杏の成分と記憶との関連など実に幅広く展開しています。教授により構造決定された化合物は180種にもおよびます。教授は、甲南高校時代を振り返り、日本中に軍国主義が猛威を振るう中、リベラルな甲南にいたことがあって計り知れない恩恵を受けました」とおっしゃっています。



中西 香爾(なかにし こうじ)
1925年香港生まれ。リヨン、ロンドン、アレキサンドリアで育つ。1944年、旧制甲南高校卒。1954年理学博士。東京教育大学理学部教授などを経て、1969年からコロンビア大学教授。この間、ケニア国際昆虫生理生態研究所長、サントリー生物有機科学研究所長として国際的学術交流に尽力する。氏の功績を称える「中西プライズ」が日米学会に創設され、日本学士院賞・恩賜賞、全米科学アカデミー賞ほか受賞多数。1999年度には、文化功労賞を受賞。今年、アラブのノーベル賞ともいわれるキング・ファイサル国際賞を受賞。教育者であり続けています。

「ニューヨーク日本クラブを借り切って行われたニューヨーク甲南会10周年記念行事。会長の柳下宇一さんと1959年経営卒(を中心として催されたこのイベントには、現地で生活する多数の同窓生のほか、甲南学園からは池上吉蔵理事長が来賓として参加し、記念すべき日をともに祝いました。当日のプログラムは大きく二つ。一つは、会員だけでなく、一般のニューヨーク市民にも広く開放する形で開催されたサロンコンサート。会員の加野稔さんと1960年甲南中学卒の企画「フロデュース」により、氏の令夫人で、現地で活躍中のヴァイオリニスト田中景子さんとチェリストのフレデリック・スロトキン氏、ピアニストのエリ・カン氏による「ヴァイオリンの午後」です。このニューヨークを本拠とする著名なアーティストたちの、トークを交えた三重奏には80名余りが集い「フォスター作」「金髪のジェニー」などの演奏を楽しみました。また、演奏終了後は、観客と奏者がざくばらんに歓談するなど、自由で和やかな甲南らしい雰囲気。ハイライトは甲南学園が生んだ天才作曲家、貴志康一さんの作品「竹取物語」「龍」などが演奏され、大いに盛り上がりを見せました。「竹取物語」は湯川秀樹博士がノーベル賞受賞の折、その祝賀会で演奏されたエピソードからもわかるように、日本を代表する名曲として知られています。また、アンコールでは9月11日の同時多発テロの鎮魂歌として「アメイジンググレイスのヴァイオリンソロ」が、心にしみるその音色に、観客の中には、思わず涙ぐむ方もおられました。コンサートの収支余剰金5000ドルは、9月11レリーフ基金に寄付されました。

この日行われたもう一つのイベントは、会員を中心とする祝賀晩餐会。30数名の出席者は日本クラブ総料理長の特別メニューを堪能しました。また、メインイベントはラッフル(くじ引き)。池上理事長がお祝品として持参した日本製クリスタルカットグラス「江戸切子」数点を目玉に、サロンコンサート(ピアノ奏者、カン氏夫妻のピアノデュエットを収録したCD)10数枚など、ニューヨーク甲南会へ寄贈されたグッズを景品として提供しました。当たった人は自己紹介と近況報告を行うフルールですが、実はこのくじ引き、ほとんどの方に当たる趣向。ニューヨーク甲南会のメンバーである甲南出身者や甲南女子学園出身者ももちろん、そうでない方々もお互いに親睦を深めるよい機会となり、祝賀晩餐会は終始にぎやかな声があふきました。

後日談として、10月10日には、ニューヨーク



文化会 能楽研究部



1967年11月 / 大学祭:演劇祭 於 旧神戸国際会館



1964年当時の部室



創部50周年記念式典



www.page.sannet.ne.jp/m-doro/konan_ob/

OB会の会長泥さんが自ら手掛けるOB会のホームページ。リーグ戦の試合結果などほぼ毎日更新されるため、すでに1万5000件以上のアクセスを記録する人気ぶり

体育会 バasketボール部



現役生とOBで、つむぎ続ける絆 それを支えに、古典芸能の魅力伝える

取材に出席された方：若林 邦昌さん(1958年経卒)、小川 正子さん(旧姓・家城 / 1966年文卒)、土山 敏夫さん(1969年法卒)、山本 秀樹さん(1973年営卒) 是沢 俊作さん(1974年経卒)、是沢 昌子さん(旧姓・牧本 / 1975年営卒)、牟田 素之さん(1994年法卒)、学生 小林 維毅さん(部長文3)、金村 実香さん(法3)

1994年甲南大学の能楽研究部は17年ぶりに本格的な能の演目「清経」を演川神社で上演した。その大舞台に際し、場所や予算の心配に奔走した1994年卒の牟田さんは、「実現できたのは、後援会やOBの方々の力添えがあったからこそ。進んで現役生を支援してくれる姿に驚いた」といふ。能楽研究部の世代を超える絆。それは、どのような歴史に培われてきたのだろうか。

能楽研究部は、甲南高校の能楽部を前身として、1951年の甲南大学設立とともにその産声を上げた。1学年150人程度の時代に25人から30人が在籍。合宿では師匠や先輩の下、朝から晩まで声がかかるほどの厳しい練習が日々行われていたという。1956年には、第1回狂言会、佐渡狐」でその成果を披露。「その頃、神戸で唯一大ホールを所有する神戸新聞会館を埋め尽くすほどの盛況ぶりだった」と、1958年卒で、現OB会会長の若林さんは当時を懐かしむ。1964年には四大学交歓会が開催され、この頃から関西圏の大学いすれにおいても能楽研究部の活動が盛ん。甲南大学は、お嬢子をご父母の方々に賛助出演していただいたり、能舞台のある卒業生のお宅を練習場として使わせていただくなど、周囲の支援にも支えられ、関西学生連盟観世流謡曲コンクールで準優勝という功績を刻んだ。それら揺籃期の活躍を綴った創部10周年記念誌「橋がかり」を編集した1966年卒の小川さんは、「練習は体育会なみ一般の方の20年分以上を4年間で修得する

チームワークなら、どこにも負けない OB、現役が一丸となって勝利に挑む

取材に出席された方：平松 弘さん(1959年経卒)、泥 光重さん(1962年理卒)、布谷洋祐さん(1965年営卒)、佐光斎一さん(1968年法卒) 山本 誠さん(1971年営卒)、上成和央さん(1978年営卒)、高木憲章さん(1991年法卒)、学生 成田哲大さん(主将経4)

伝統あるバスケットボール部の栄光の歴史の第1ページは、1962年の関西学生バスケットボール秋季リーグ決勝。同志社との激しい競り合いを制したのは甲南大学だった。実に、1点差の劇的勝利。そして甲南大学にとっては、創部以来の夢、リーグ初優勝を遂げた勝利でもある。しかも、喜びはそれだけで終わらない。翌年も連覇し、バスケットボール関係者の脳裏に、「強い甲南」が焼き付けられたのだ。当時選手として活躍した1965年卒の布谷さんは、いま、現役の監督でもある。「当時は社会人団体とも試合をしました。200連勝くらいしていた日紡平野」の練習相手に選ばれていたほどですから、相当、チームが充実していましたね」と、現役時代を懐かしむ。

創部時は、4部からスタートしながらも、わずか10年で栄冠をつかんだ甲南。その強さの秘密は、一体何だったのだろうか。当時を知るOBの方々に尋ねてみると、その一因はチームワークにあるという。1962年卒で、いまはOB会の会長の泥さんは、「いつもメンバーが少なく苦戦しましたが、その分ほかのチームより、上級生と下級生の仲が良かったと思います。下級生はボール拾いしかさせてもらえないチームもあるなかウチは15人くらいがこちゃ混ぜで楽しんでいるという感じ。試合でも、その団結力が力になったのでしょね」と語った。

すると、1971年卒の山本さんも続けてコメント。「僕の時代以降は、必ずしも栄光の歴史とは言えない。下位リーグへの降格ギリギリの戦いや無念の降格、さらに再度

【創部】1952年
 【部員数】28人(2002年10月現在)
 【主な実績】

- 1952 創部
- 1953 関西学生4部リーグ優勝、3部昇格
- 1954 第1回学習院定期戦 / 関西学生3部リーグ優勝、2部昇格
- 1956 関西学生2部リーグ優勝、1部昇格 / この年より1970年までほぼ毎年全日本学生、近畿総合、全日本総合に出場
- 1957 関西学生1部リーグ3位 / 西日本学生ベスト8
- 1961 関西学生1部リーグ5位 / 近畿総合準優勝
- 1962 関西学生1部リーグ優勝 / 全日本学生ベスト8
- 1963 関西学生1部リーグ優勝 / 全日本学生ベスト16 / 兵庫県総合優勝
- 1964 関西学生1部リーグ3位 / 全日本学生10位 / 兵庫県総合、兵庫県学生優勝
- 1965 関西学生1部リーグ5位 / 全日本学生4位 / 兵庫県総合優勝
- 1966 関西学生1部リーグ優勝 / 全日本学生ベスト8 / 近畿総合ベスト4 / 西日本学生4位 / 県学生優勝
- 1967 関西学生1部リーグ4位 / 西日本学生準優勝 / 県学生優勝
- 1968 関西学生1部リーグ3位 / 西日本学生4位 / 県学生優勝
- 1969 関西学生1部リーグ6位 / 西日本学生ベスト8
- 1970 関西学生1部リーグ6位 / 西日本学生ベスト8 / 県学生優勝
- 1971 関西学生1部リーグ8位 / 西日本学生ベスト8 / 2部降格
- 1976 関西学生エイトリーグ7位 / 全日本学生出場
- 1995 兵庫県学生優勝
- 1997 関西学生2部リーグ優勝、1部復帰 / 県学生優勝
- 1998 関西学生1部リーグ9位
- 1999 関西学生1部リーグ10位
- 2000 関西学生1部リーグ8位 / 全日本学生出場 / 県学生優勝
- 2001 関西学生1部リーグ8位
- 2002 関西学生1部リーグ6位 / 全日本学生出場 / 県学生優勝 / 創部50周年記念式典しレブション開催。記念事業として「甲南大学バスケットボール部創部50周年記念誌」発行

- 【創部】1951年
 【部員数】19人(2002年11月現在)
 【主な実績】
- 1949 新制甲南高等学校において謡曲研究部発足
 - 1951 甲南大学能楽研究部発足
 - 1954 後援会発足(後の甲議会)
 - 1955 甲議会発足 / 第1回甲議会(巖山閣)
 - 1956 第1回狂言会(神戸新聞会館)
 - 1958 部室完成
 - 1960 第2回狂言会(大阪能楽会館) / 文化祭(大学祭)にて能「土蜘蛛」上演 / 学習院観世会との交換会が始まる / 部室増築
 - 1961 文化祭(大学祭)にて能「小袖曾我」上演(神戸国際会館)
 - 1963 創部10周年記念大会(大阪能楽会館)
 - 1964 四大学交歓会(現在の三大学合同舞台)始まる / OB会発足 / 創部10年誌「橋がかり」発行
 - 1967 大学祭:演劇祭にて能「夜討曾我」上演(神戸国際会館)
 - 1968 創部15周年舞台にて半能「巴」上演(大阪能楽会館)
 - 1972 大学祭:演劇祭にて能「吉野天人」上演(芦屋ルナホール)
 - 1974 大学祭:演劇祭にて能「俊成忠度」上演(西宮市民会館)
 - 1975 大学祭:演劇祭にて能「田村」上演(芦屋ルナホール)
 - 1976 創部25周年舞台にて能「小督」、「土蜘蛛」上演(大阪能楽会館)
 - 1982 能楽練習場「甲議館」完成(OBより寄付)
 - 1994 大学祭:演劇祭にて能「清経」上演(演川神社)
 - 1997 大学祭:演劇祭にて半能「賀茂」上演(西宮アマティホール)
 - 1998 大学祭:演劇祭にて能「田村」上演(三宮朝日ホール)
 - 2000 創部50周年記念舞台にて能「船辨慶」、「安達原」上演(大阪能楽会館)
 - 2002 大学祭:演劇祭にて半能「船辨慶」上演(西宮アマティホール)



▲1964年に10周年を記念して、その歩みを綴った記念誌「橋がかり」

歴代師匠の方々
 能 大西 信彦先生、小西 弘通先生、大西 礼久先生
 狂言 善竹忠郎先生、善竹忠一郎(孝夫)先生、善竹忠重先生

ほとだった」と当時の練習の厳しさを振り返ってくれた。

15周年を迎えた能楽研究部は、新たな試み始める。1969年卒の土山さんによれば、この頃から能への本格的な取り組みを開始し、学生が中心となって競って挑戦、練習もさらに苛酷に。しかし、全国的に学生運動の風潮があらわれ、どのクラブの部員数も減少の途をたどる。1973年卒の山本さんははじめ、当時を知るOBは口を揃えて、そんな時にもご父母による後援会(甲議会)やOBの方々の後ろ盾があったからこそ活動できた」と、感銘の思いを互いに語った。

決して順風満帆ではなく、苦しい場面も歩み続けてきた能楽研究部。その過程で、OBが能楽練習場「甲議館」の建設費の一部を寄付するなどお互いの絆は深く、強くなっていたのだらう。連綿と受け継がれるその伝統は、初めて野外上演会に挑戦した現役生の試みやこれからの能楽研究部の歩みにも息づいていくに違いない。



トゥレーヌ甲南学園 96年卒 甲南大学 文学部 人間科学科 2000年卒
(有)オフィス アドバンス勤務 丸谷 正義さん

いまはテレビ番組の制作会社に勤務し、ABC「おはよう朝日です」を担当しています。朝早くから明石まで競り市の取材に行ったり、締め切り間際には夜遅くまで編集したりと不規則な毎日ですが、毎週土曜日のオンエアを無事終えると、また来週頑張ろうという気になります。このように仕事に打ち込めるのは、高校時代、トゥレーヌ甲南学園でいろいろなことにチャレンジする面白さを知ったことが原動力になっています。

大切なのは、何事にもチャレンジすること 3年間の経験が、いまの私を支えています

トゥレーヌ甲南学園卒業生にインタビュー

いまはホームステイ先の家族が、「コミュニケーション」が苦手な私をすいぶん気遣ってくれて、その優しさに応えたいという気持ちから語学学習への意欲が増し、意外と早く慣れることができました。思い出に残る体験はいくつもあります。例えば、地元中学校との合同体育祭では団長を務め、競技に白熱、騎馬戦でも地元中学生と力を合わせて頑張りました。文化祭では、バンドを組んで日本の曲を演奏したこともありましたね。学外でもさまざまなことにチャレンジしました。キックボクシングを習ったり、先生の勧めから野球のクラブチームに所属したり。とくに野球では、地方リーグで優勝し、フランスナショナルリーグ4位まで勝ち上がったことが思い出深いです。

卒業後は、甲南大学の文学部人間科学科を経て、いまの職業へ。映像に携わる仕事ですから、トゥレーヌで何事にも感動して過ごした体験を生かし、人の心を捉える作品作りが生かしていきたいと考えています。



地元の中学校と合同で行われた体育祭では、地域交流も深まり、白熱した応援合戦や騎馬戦が繰り広げられた。写真中央が丸谷さん。

えています。

大学ではプロとして本格的にボクシングに取り組みました。最近では、ジムで一般の方に教えるようにもなりました。

ひとつのことを協力して作り上げる楽しさや、人との触れ合い。そして行動することの大切さ。トゥレーヌ甲南学園での3年間で育まれた自主性と積極性は、いまだけでなく、これからの私を支える基礎になっていくでしょうね。

Topics

地元地域との交流

イベントNEWS

「世界若者の祭り」で和太鼓を威勢よく演奏!

去る9月13日~16日の4日間、ドイツのメイネルツハーゲン市で行われた「世界若者の祭り」において、トゥレーヌ甲南学園の和太鼓部の生徒9名が演奏を行いました。集まった観客のほとんどは和太鼓が初めてだったらしく、演奏が終わると同時にスタンディングオベーションとアンコールの大合唱が始まりました。



Pick up 高・中Topics

体育祭・文化祭

体力を競い、日頃の活動成果を報告 生徒主体で開催する、秋の二大イベント

甲南高等学校・中学校では、今年も秋の一大行事として、9月25日に体育祭、11月3日に文化祭を開催しました。

体育祭では、中学と高校の全27クラスが紅白に分かれ、先輩・後輩の垣根を超えて団結。自分のチームを勝利に導くため、約20種類の運動競技で力や技を競い合います。競技の目玉は、毎年恒例の「鉄人レース」。これは洗面器の水に顔をつけ、肺活量を試された後に、アメ食いで顔を真っ白にし、障害物を乗り越え、さらに50kgの砂袋を背負ってゴールするという男子校ならではのハードなレースで、選手だけでなく、応援する側も、そうとう熱がこもります。また、一騎打ちの騎馬戦



などはまさに力と力のぶつかり合い。下級生が先輩に負けじと、夢中で向かっていくシーンなども見られ、見応え十分の内容でした。

一方、文化祭では、クラブごと、クラスごと、あるいは、共通の趣味を持つグループが、展示などで日頃の文化活動の成果を発表。無線部による野球などで用いられるスピードガンの構造分析や、図書委員会による再生紙の研究成果の展示など、知的好奇心をくすぐる展示も多く出展されました。また文化祭は、生徒だけでなく、父母をはじめ、広く一般からも参加が可能です。チャリティバザーには、お母さん方が開店時から詰めかけ、大盛況となりました。

甲南高・中では、こつこつとした体育祭・文化祭を教師ではなく、生徒自治会を中心に生徒自身が進めます。そのため、単に、体力を競ったり、活動を発表するだけでなく、みんなで一つのものを作り上げる協調性や実行力が育まれます。

よく学び、よく知り、よく考えよう

甲南体験NOW

自分たちでつくる
体育祭・文化祭の
醍醐味を教えてください!



岩佐 嘉久君 甲南高校1年生
生徒自治会事務総局長

学校中を巻き込む行事は、大変だけど、達成感もすごい。体育祭・文化祭は生徒自治会を中心に、各クラスやクラブなどの生徒が全員参加で作っています。誰もが面白いイベントにしたいと思っているのですが、当然、1,200人からなる生徒全員が同じことを希望するわけではありませんよね。僕ら自治会総務部は、どうやってみんなの意見を反映するか、それをいかに面白くイベントとしてプランニングするか、また、出来上がったプランをもとに、全員をどうやってまとめ、運営していくかなどを考え、実行するわけです。...が、高校生では自分たちでできることに限界があるので大変ですよ。とくに大変なのが文化祭直前の一週間。準備のために居残りが認められているので、夜9時まで残り、家でも作業しています。

ただ、それだけの苦労をするからこそ、当日、みんなが大声で応援し合ったり、笑っていたり、最高に盛り上がり上がっている様子を見ると、うれしくなるんですよね。来年は、甲南の伝統を受け継ぎながら、もっと面白い体育祭・文化祭を企画していきたいつもりです。

今回はSF作家の登竜門である小松左京賞を先の9月に受賞された木本伸司さんを取材。作家としてのスタートラインに立った今日までの経緯や、大学時代の体験が、そこにどう影響したのかなどをお話いただきました。

小松左京賞受賞作品



神様のパズル
角川春樹事務所 ¥1,700(税別)
「宇宙は作ることができるのか?」というストレートな問いかけを主題にした作品。シチュエーションは、大学のゼミでの討論となっており、木本さんの大学への関心をうかがわせる。

起承転結で捉えれば「起」の4年間 作家への挑戦は、甲南から始まった

木本伸司さん 1979年理学部卒業
(ペンネーム 機本伸司)



意外に思われるかも知れませんが、私大時代は理学部だったんです。実は、高校まで国語と英語が、もう、まったくダメ(笑)。大学受験のとき、理数系以外に選択肢がなかったからなんです。ただ、そんな消極的な理由で入学したのだから、大学では、自分の生きる目的などについて、すいぶん悩みました。エンジニアを目指すどころか、逆に、卒業単位に関係ない心理学や哲学なんかの授業を取り、急に本を読むようになったんです。

SF作家という将来を考えたのは、そんな時期。自分を模索していた当時に、日記というか、考え方を綴ったノートを、毎日かなりの量で書き始めたんです。これがやがて、思っていることを論理的な文章として展開できるという自信につながり、小説を通して、自分を表現したいと思いつくようになったわけです。ただ、卒業後すぐ作家を目指したわけはありません。20年間は、出版とPR映画の制作に携わり、3年前から、

ようやく長編小説に取り組みました。今回の受賞作「神様のパズル」は、3作目。経済的な面もあり、これがダメなら作家になることを諦めるつもりでしたから、自分の意志にいい決着をつけられたことに、本当に満足しています。

振り返ってみれば、私の大学生活は悩みの時期でした。決して楽しいものではなかったけれど、ドラマツルギー(作劇法)における、起の部分で、この4年間がなければ大きなモチベーションを得られなかったに違いありません。こんな私を包容力を持って受け入れてくれた甲南のおおらかな校風には感謝しています。また、当時の友人、先輩方には勝手に言い、随分迷惑もかけましたので、この場を借りて一言お詫びしたいと思います。

これまでは自分の夢のために書いてきましたが、これからは、かつての自分と同じように悩んでいる人に、何か共有できるヒントを発信していければと考えています。

PROFILE

甲南大学理学部を卒業後、出版社に入社。編集部に所属する。その後、1990年に、映像制作会社に身を移すが、1993年以降はフリーランスのPR映画ディレクターとして独立。1999年より、いよいよ小説の本格的な執筆を開始し、2002年9月、「神様のパズル」で第三回小松左京賞を受賞。

木本さんの甲友録

- 星田 和也さん**
1979年理学部卒業
現在、(株)ダイアイティ取締役
- 三谷 軌文さん**
1979年理学部卒業
現在、京セズ(株)通信デバイス事業部品質保証部 副責任者
- 若田 玄一さん**
1979年理学部卒業
現在、JEMアメリカコーポレーション勤務
カリフォルニア州在住

卒業生 TOPICS

甲南OBの著書をピックアップ!



2004年度決定版
採用される履歴書・
エントリーシート実例集
本田 勝裕、櫻井 照士 著
1985年経営学部卒業
主婦の友社 ¥1,300(税別)



ハンディキャップにとらわれない
ぼくの生き方の
心のカベ、崩壊
藤田 益啓 著
1989年理学部卒業
碧天舎 ¥1,400(税別)

甲南フォーラム KONAN FORUM ダイジェスト



甲南大学法曹養成 高等教育研究所を設置

2004年度の法科大学院(ロースクール)の設置準備。法科大学院における教育内容・方法・成績評価、入学者選抜の研究開発などを目的として、10月1日、法曹養成高等教育研究所が設置されました。所長には、法学部の谷口勢津夫教授が就任、研究員は22人で、本学の教員のほか、弁護士や他の大学の教員などで構成されています。
(http://lawschool.konan.jp/)

甲南大学法曹養成高等教育研究所 開設記念シンポジウムが開催される

11月9日甲友会館にて、「激動する経済構造と司法制度改革の意義」と題して研究所開設記念シンポジウムが開催されました。

基調報告に香西 泰氏(1951年甲南高等学校卒・日本経済研究センター会長)を迎え、その後、シンポジウム第一部では香西氏、猪木武徳氏(国際日本文化研究センター教授)、奥野正寛氏(東京大学大学院教授、法曹制度検討会委員)、

諸石光昭氏(1956年甲南高等学校卒・住友化学工業株専務取締役、弁護士、法曹養成検討会委員)による「司法制度改革を経済の視点から」

激動する経済社会構造の変革に対応しつつ、法曹及びその養成について討論され、第二部では諸石氏、横山晋一郎氏(日本経済新聞社社会部編集委員)、後藤守男氏(辰巳法律研究所長)、渡辺修氏(神戸学院大学教授)による、法曹養成と多様性開放性の理念。法科大学院の制度設計として社会の要請にこたえる公平性・開放性・多様性の理念とはなにか求められる法科大学院の制度設計が、300名を超える聴衆を巻き込んで熱く論議されました。

シンポジウムの終了後、ポトピアホテルにおいてレセプションが開催され、理事長挨拶、柳井道夫成蹊大学学長の乾杯、来賓祝辞に続き、奥野氏から司法改革の意義とその役割についてシンポジウムの概評を頂きました。

第38回学術祭 第131回現代講座開催

自治会中央委員会現代講座委員会が主催する現代講座。摂津祭の初日である11月20日、映画評論家である水野晴郎氏及び西田和昭氏を講師



に迎え、「映画の素晴らしさ」について講演していただきました。少年期を大戦中の中国で過ごした水野氏が、戦後アメリカ映画を通してアメリカの民主主義に魅せられ、24歳でアメリカの映画会社である20世紀フォックスの宣伝マンになるまでのストーリー、同氏監督・制作の「シベリア超特急3」(2003年1月公開)に託された反戦へのメッセージ、聞いていて思わず元気の出る映画にまつわるエピソードなど、水野・西田両氏のテンポあるトークに、参加者は声をあげて笑ったり、涙ぐんだりしました。おしまいは、もちろん水野氏の「いや〜映画って本当にいいんですわ〜」という言葉で大盛況の講演会は幕を閉じました。

甲南大学の 教員が執筆した 新刊 レビュー



21世紀フランス語表現辞典
中村 典子(国際言語文化センター助教授)
Claude ROBERGE, Solange 内藤
Fabienne GUILLEMIN
加藤 雅郎、小林 正巳 著
駿河台出版社 ¥4,800(税別)



マーケティングの変革
情報化のインパクト
中田 善啓(経営学部教授) 著
同文館出版 ¥3,000(税別)



情報科学 ヒューマン編
中易 秀敏(理工学部教授)、坪野 博宣
前田 多章(理工学部講師)
前川 善一郎 著
共立出版株式会社 ¥2,900(税別)



老後の持ち家活用法
リバース・モーゲージって何だ?
逆住宅ローンで余裕を!
中谷 庄一 著
1958年経済学部卒業
文芸社 ¥1,143(税別)

弁護士・さわやか福祉財団
理事長 堀田 力氏推薦

卒業生、学生・父母の方々が一堂に集う大イベント開催!

甲友ファミリー募集のお知らせ

年に一度卒業生・学生・生徒とそのご父母が一堂に集うイベント「オール甲南の集い」が左記のとおり開催されます。テーマは「ハイハイ!! 甲友ファミリー」。一家で3人以上の甲南生がいらっしゃるファミリーで当日ご参加いただけます。ご家族に記念品を差し上げます。旧制新制の卒業生だけでなく現役もOK。甲南女子や甲南小学校の皆さまも大歓迎、同封のアンケート用紙でお申し込みください。さらに、テーマの松岡修造氏を招いて講演会を催すほか、長谷川三郎展覧会も開かれる予定です。

- 【日時】2003年4月20日(日)
【テーマ】ハイハイ!! 甲友ファミリー
【場所】甲南大学
【内容】
メイン会場 甲友会館 大ホール
午前11時、
オープニングセレモニー
午前11時30分、
「甲友ファミリー大集合」記念品贈呈
午後1時~5時
オール甲南夢舞台
現役学生の演奏・演舞会
午後5時~5時30分
閉会式
その他会場
長谷川三郎作品展覧会甲友会館小ホール
お祭り広場 模擬店
【学友会館】2・3F 学生食堂
【オクシオン】甲南ハイツセル
【図書館北】雨天時は511教室
【松岡修造氏講演会】1・4・2講義室(午後1時)
【三ツツカ力大会】講義兼体育館
第一部 午前11時~午後1時、親子でソフトサル
第二部 午後2時30分~4時30分
「飛び入りゲーム大会」
クラブ・ゼミ・OBOE会、恩師を囲んで
【10号館各講義室・午後2時30分~】
子ども広場、キッズランド
【10号館1012講義室・午前11時~午後4時30分】



このコーナーは、読者の皆さまから寄せられたお便りによって構成していきます。今回は、いま大学教育に必要と思われる姿勢や具体的な講座などについてご意見をいただきました。

私自身の体験から言えば、大学時代に「コンピュータのソフトウェアの知識を、基本に忠実に教えていただいたことが、社会で大変役に立ちました。ゆえに先端技術の講座は不可欠だと思います。(経営学部・72年卒・男)
講義を受けて、わからないことや苦手があるのは人それぞれですから仕方ありません。それなのに甲南大学には、質問をしやすいうたっホームな雰囲気があると思っています。(経済学部・82年卒・女)
次男がアメリカの大学に通っており、日本の大学とのギャップをよく口にします。もちろん、長所・短所はそれぞれあるのですが、日本の教育システムを見直す必要もあるかと思えます。(文学部・77年卒・女)
近頃、日本国憲法、国連憲章などが軽んじられているように思います。大学教育の中で、もっと平和について教える必要があるのではないのでしょうか。(理学部・76年卒・男)
公開講座に参加してみたいと感じていますので、その辺りを充実していただけないか。とくに現役学生と私たち社会人が、何かテーマを決めて交流するような場があればいいのですが。(理学部・89年卒・男)

2003年度一般入試日程

Table with columns: 入試制度, A 日程, B 日程, B 日程式, C 日程, D 日程, EBA総合コース一般入試D方式. Rows include exam dates (2月1日 to 2月8日), departments (経済学部, 理工学部, etc.), exam locations (神戸, 京都, etc.), and application periods.

理工学部では、充実した研究機器を設置していると感じていますが、その分野にもっと力を入れ、学生に貴重な体験をさせて欲しい。社会に出てから理科教育の必要性、重要性を実感することが多いので、切に願います。(旧制高等学校・40年卒・男)
阪神間にはギヤラリーが多くあります。せっかくの好口ケーションですから、美学美術史、東洋美術史、西洋美術史、東洋陶磁史などの講義を充実させて欲しい。私自身、聴講したいと思っています。(経営学部・60年卒・男)
子どもたちが学ぶ喜びを知り、いろいろな事が起こる社会の中で、人間関係などを深く見つめていく習慣が身につけばいいと思います。(在学生の母)
学生時代、教授のお宅にお邪魔し、酒を飲み、奥さんの手料理をいただいたことが忘れられません。そういう教授と学生の結びつきは、ずっと絶えずに続いて欲しいと思います。(経済学部・67年卒・男)
大学というのは小さな社会、学問だけでなく、人として必要なことがあるる学べる場だと思えます。ですから、学部の専門知識だけでなく、マナーや人間性などの情操教育にも力を入れて欲しい。(経営学部・60年卒・女)

誌面作りに対する「意見」・「感想」

特集 甲南教育で培った、自分を発信する力を読みまき。その通りだと思います。確かに、大学は教えられる場ではなく、自ら学ぶ場としてあるべきですね。(旧制高等学校・50年卒・男)
最近また、何か学んでみたいと思っていた私にとって、社会のそれぞれの場で働いていた人がもう一度学んでいる姿というのが非常に興味深かった。(文学部・69年卒・女)
巻末でコラムを連載している中井教授は高校時代のクラスメイトでした。何を書いてくれるのか、毎回楽しみにしています。(経済学部・56年卒・男)
甲南生まれの芸術家についての記事が面白かった。誇りにしたいと思っています。(文学部・84年卒・女)

就職イベントスケジュール

就職面接実践講座

面接突破に向け、少人数による模擬実践を通じ、面接の重要ポイントや個別に予習・指導し、効果的な自己PRや動作を学ぶために、次の要領で開催します。
【日時】2003年1月31日(金)・2月6日(木)・7日(金)・10日(月)・12日(水)
【時間】1日4回開催。開始時間は午前10時、午後0時30分、同2時30分、同4時30分。所要時間は30分の予定。
【場所】平生記念ゼミナールハウス
【講師】(株)リナより2名
【参加費】5,000円
【申込方法】2003年1月14日(火)から先着順に受付。就職部で受け付けます。締切は1月22日(水)
【提出書類】履歴書および申込書

企業研究セミナー

新卒就職希望学生を対象に、業界・企業研究の助とする目的で開催します。このセミナーは、就職活動を行ううえで大変重要なセミナーとなります。業務繁多のなか多くの企業がご参加くださいますので、民間企業へ就職を希望する学生は、1社でも多く参加するようにしてください。詳しくは、就職部の掲示板を見てください。
【期間】2003年2月13日(木)・3月31日(日)
【時間】(土曜日および)3月5日・6日・25日を除く)
【時間】Aゼミナール 午前10時開始 3月4日まで開催
Bゼミナール 午後1時30分開始
Cゼミナール 午後4時開始
所要時間は30分の予定
【場所】1号館および5号館の講義室を予定
【内容】企業説明および質疑応答
【参加企業】
2月4日(土) 3月4日(木) 1日15社8社
3月10日(土) 31日まで、日15社6社を予定
【申込方法】同じ時間帯の申し込みは、1人1社に限り、ます。なお、事前の申し込みが必要。

EVENT SCHEDULE

- 1月 講義再開(7日)
月曜の振り替え講義日、
2002年度講義終了(14日)
補講日(15・16日)
後期試験(17・30日)
2月 大学入試センター試験(18・19日)
入学試験 A日程(1・5日)
入学試験 B日程・B日程S方式(8日)
入学試験合格発表(15日)
体育会祝勝会・文化会顕彰会
父母の会課外活動表彰式
文化会リーダーセミナー
2002年度卒業証書認定者発表(5日)
入学試験 C日程 EBA総合コース方式(7日)
入学試験 D日程 理工学部2次試験(11日)
入学試験合格発表(14日)
2002年度卒業証書・学位授与式(25日)

次回テーマ

今回は本誌で特集した「集まれ! 甲友ファミリー」について意見をいただきました。ありがとうございます。そこでテーマは、「私も甲友ファミリー」。自分と甲南関係者の強い団結や「ユツクな結びつき」あるいは「日常の中でふと感じる親近感」など、こんなことでも結構ですから、ぜひお教えください。

編集後記

今回はこのように、甲南をキーワードとするネットワークを特集としてクロージングしましたが、そもそも本誌自体が、卒業生、在校生、ご父母の皆さまと学園大学の絆を深めることを目的とした冊子です。これからOBEの方の活躍や懐かしい学生時代を思い返すことができる記事、そして、いまの学園・大学、および学生・生徒の様子を伝える最新の情報などを提供していきます。ご意見・ご感想などございましたら、ぜひお寄せください。お待ちしております。

送付冊数のお申し出

「甲南oday」が家へ2冊も3冊も届くので、1冊にしてください。というご要望をおし出さる方が多くなっています。親子とも甲南卒で何冊も届いていたり、また、在校生の父親として1冊、卒業生としてもう1冊届くとごとうごともあります。お申し出のあった場合は、連名でお送りさせていただきます。1冊のみは送っていただいています。皆さまのご家庭でも、お送りする冊数にご希望がございましたら、アンケートはがきでお知らせいただけますようお願いいたします。

お詫びと訂正
前号の鳩杖のページに掲載いたしました写真の年代に誤りがありました。お詫びし、訂正いたします。
(誤) 1952年
(正) 1942年

次号予告(2003年3月発行予定)
NETWORK KONAN
つながる! 甲南ネットワーク
フロンティアで学ぶということ
甲南Today No.12
発行日/2002年12月15日
発行/甲南学園広報室
〒658 8501 神戸市東灘区岡本6丁目9-1
TEL(078)431 4341(代)
印刷/大日本印刷株式会社